

ハマビシ

Tribulus terrestris L.
ハマビシ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅

旧：県域絶滅

【環境省カテゴリー】絶滅危惧ⅠB類

選定理由

過去に確認記録があるが、近年確認の情報がなく、現状では絶滅した可能性が高い。

分布

本州（千葉県及び福井県以西）、四国、九州に分布。県内では嶺南地方の一部で確認されている。

種の特徴

海岸の砂浜に生える一年草または越年草。茎は匍匐して長さ1mに達する。葉は、大型で6～7対の小葉がある型と、小型で3～5対の小葉がある型の2型を区別することができる。7～10月頃、黄色の花が小型葉の腋に付くか、もしくは大型葉と対生して付く。

絶滅した要因

生育地である海岸の開発、土地造成。

参考文献 若杉孝生（2008a）、佐竹義輔ほか（1982a）、福井県自然保護課編（2004）

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
			●														

イヌハギ

Lespedeza tomentosa (Thunb.) Siebold ex Maxim.
マメ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅

旧：—

【環境省カテゴリー】絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

1936年に池田町で採集された標本が残るのみで、その後は確認されず絶滅したと考えられる。

分布

本州～琉球に分布し、県内では池田町で確認記録がある。

種の特徴

河原等の日当たりの良い砂地に生える多年生半低木。高さは150cmほどになり、全体に軟毛がある。花は黄白色で枝先の総状花序に多数付く。

絶滅した要因

かつての自生地は特定できないが、開発等で生育環境が悪化・消失したと考えられる。

参考文献 若杉孝生（2008a）

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
									●								

ヒナノカンザシ

Salomonina ciliata (L.) DC.
ヒメハギ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅

旧：県域絶滅

【環境省カテゴリー】—

選定理由

1934年に旧武生市で採集された標本が残るのみで、その後の確認記録がなく、県内では絶滅したものと思われる。

分布

本州～九州に分布。県内では嶺北地方の一部で確認されている。

種の特徴

日当たりの良い湿地に生える一年草。茎は細く直立して、ときに分枝し、高さ6～25cm。葉は互生し、長楕円形で長さ3～8mm、上方のものは披針形で長さ14mmほどになり、柄はほとんどない。8～9月頃、紫色を帯びた長さ1～2mmの花が、細長い穂状花序に付く。

絶滅した要因

生育地である湿地の開発や踏みつけのほか、植生遷移等による生育環境の悪化。

参考文献 若杉孝生（2008a）、佐竹義輔ほか（1982b）福井県自然保護課編（2004）

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
												●					